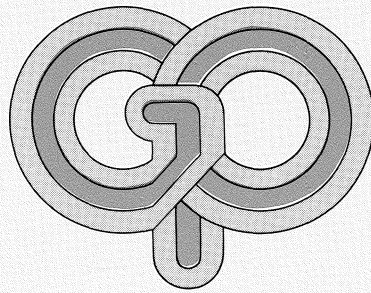
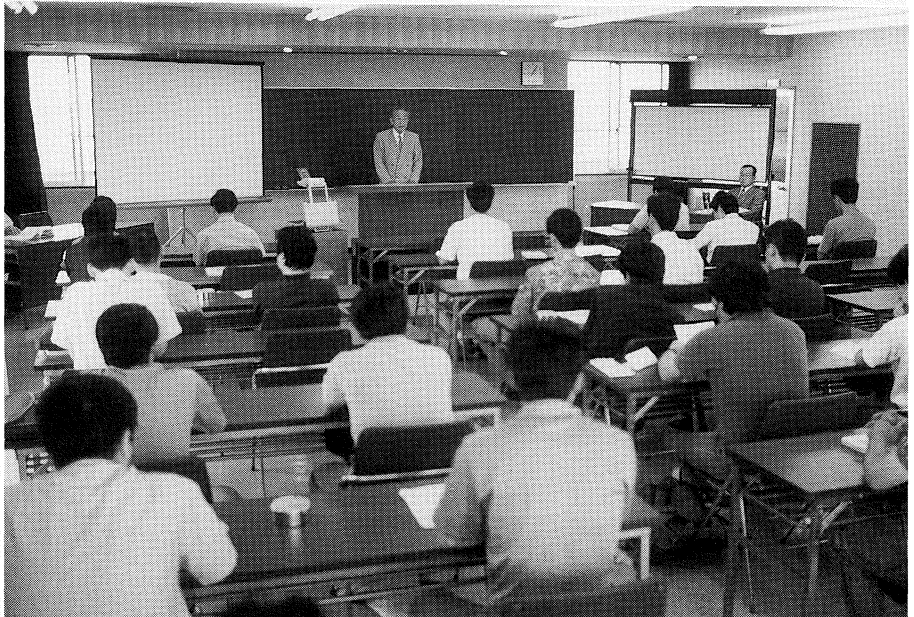


岐阜県の プラスチック



通産省が物流合理化へのガイドラインを策定
流通業務効率化法が10月から施行される
工業技術センターで40人が参加し実技の技能検定を実施
岐阜産業会館の常設展示室へプラスチック業界も出展

デザインのすすめ
組合員の工場訪問
事務局日より



技能検定に先だって
開かれた特別講習会

物流コストを的確に把握

物流合理化へガイドライン策定

プラスチック製造など19業種に

通商産業省は多頻度・小口配送などによる排出ガスの影響、交通渋滞の増加、人出不足の深刻化していることに対応、物流合理化対策の一環として取引慣行の是正のための『物流合理化ガイドライン』を策定した。

このガイドラインは、物流が個別事業者を超えた広範な経済活動であり、その合理化のためには広範な事業者の取り組みが必要なため、多くの企業が連携して物流合理化に取り組むためのフレームワークを提供する観点から策定された。通商産業省では近く関係事業団体を通じ、傘下の各企業に周知徹底を求める方針である。

発注量の計画化、納品量の標準化

物流合理化へのガイドラインは、まず第一段階として通産省所管の鉄鋼業、石油化学製造業、プラスチック製品製造業、電子・電機製造業、自動車製造業など19業種を個別にガイドラインを設定している。

各業種ともに共通する項目は、

①物流コストを的確に把握するとともに、調達頻度、調達ロットなどには標準となる取引形態を明らかにし、イレギュラー発注の割増料金など物流コストの負担関係（原因者負担）を書面で明らかにすること。

②輸送効率向上のため、発注の計画化、納品量の標準化を図るとともに、最小発注単位、最低リードタイムなどを設定すること。

③ユニットロード化に向けた使用物機材（パレット、通い箱）の規格統一。

④標準化されたビジネスプロトコル（共通商品コードなど）の採用などによる情報化の推進

⑤製品サイズのコンパクト化など物流に配慮

した商品の開発。

⑥低公害車の積極的導入、車両の空ふかし、待時間の排除などによる外部不経済への対応。—などである。

異業種含め物流対策を推進

プラスチック業へのガイド

『プラスチック製品製造業』に示された物流合理化ガイドラインは次の通りで、調達物流、販売物流、ユニット・ロード化の推進、情報化の推進、異業種との連携、自動車排出窒素酸化物の抑制に分かれている。

ガイドラインが示された背景は、プラスチック製品製造業界においても、需要家のニーズの高度化、多様化により多頻度、時間設定、緊急配送などにより物流コストの上昇と配送効率の悪化が深刻化しており、これらの状況改善に努力が行われていることが、まずあげられる。

しかしながら、プラスチック製品製造業界は中小企業の比率が高く、需要家は多岐多様にわたっており、個々の企業で進められる対策には

限界があるため、個々の企業はもとより異業種を含めた業界全体で、物流対策を推進していくことが必要とされる。

ガイドラインは、プラスチック製品製造業に属する事業者の、なすべき物流合理化の方向を示している。基本的な考え方は「物流サービスは商品」との認識に立ち、より積極的合理化を図ることである。

基準設定し契約の書面化に努めよ

《調達物流》 プラスチック製品製造業に属する事業者は、継続的取引を行う主要な原材料（4大樹脂）については、納入事業者との取引形態に応じ、次の物流条件について十分協議のうえ、合理的な基準を設定し、契約の書面化に努める。

配送頻度 = プラスチック製品製造業に属する事業者が、調達する原材料、または商品の配送頻度は、原則として1日1回とする。ただし、発注ロットが大きいなどの理由により、納入事業者が数回納入を行うことは妨げない。

配送ロット = 主要な原材料または商品ごとに最低配送単位を示す。

緊急配送 = プラスチック製品製造業に属する事業者の製造上のトラブルなど、一方的にプラスチック製品製造業に属する事業者の責に帰すべき原因により、納入事業者に対して通常の配送頻度、輸送手段によらない配送を要請する事態を緊急配送として位置付ける。

そのコストの増加分は、その原因者が負担すべきものであることを明確にするよう、納入事業者、配送業者と十分な協議を行うこと。

プラスチック製品製造業に属する事業者は個々の取引についても、それぞれ取引の実態に照らし、必要かつ合理的と判断したばあいには、可能な限り書面化に努めること。

プラスチック製品製造業に属する事業者は、その納入事業者に発注を行う場合①発注の計画化②最低リード・タイムの設定一に努めることにより、納入事業者の物品を輸送する貨物自動車積載効率の向上及び空車の減少を図ること。

同一地域への配送の共同輸送化

《販売物流》 プラスチック製品製造に属する事業者は製品の販売を行う場合、次の対策を推進することにより、輸送する貨物自動車の積載効率の向上に努めること。

貨物自動車の積載効率向上により、入出庫車両の削減を実施するため①時間指定・多頻度納入②緊急配送一についての具体的な目標値を設定し、需要家とも協議のうえ削減を図ること。

緊急輸送は、通常の配達便による出荷、通常の路線便では間に合わない時間帯での配送を要請されるために、輸送効率が悪化していることが指摘される。また、受注から納入までの最低リードタイムを設定すれば出荷車両を相当数合理化できることも期待される。

さらにプラスチック製品製造業者は、企業内または業界内における交通輸送の合理化の可能性、業界内や関係業界内で同一地域への共同配送、混載配送の可能性について検討すること。

継続的な取引については、以上の対策項目を中心とする物流条件を契約の際に書面化すること。書面化に際しては、需要家と協議のうえ合理的な物流条件の設定を行い、当該基準外の配送に伴い発注するコストは、原因者が負担すべきであることを明確にすることが望ましい。

製品の特性に応じてパレット化を

《ユニット・ロード化の推進》 プラスチック製品製造に属する事業者は、各製品ごとの特性に応じたパレット化を推進するとともに、パ

レットの統一化に努めること。使用パレットは

- ① J I S Z 0 6 0 4 木製平パレット
 - ② J I S Z 0 6 0 5 金属性平パレット
 - ③ J I S Z 0 6 0 6 プラスチック製平パレット
 - ④ J I S Z 0 6 1 0 ボックスパレット
- を可能な限り使用に努めること。

伝票の統一化など情報化に努めよ

《情報化の推進》 プラスチック製品製造業に属する事業者は、伝票の統一化などもふくめ流通業者、需要者との情報化に努めること。

《異業種との連携》 プラスチック製品製造業に属する者は、プラスチック製品製造業の物流合理化を推進するために、製品原材料業界、需要業界との連携を図ること。具体的にはプラスチック製品製造業に属する者は、各需要業界

との間で物流合理化のための検討を行う組織を設置する対策を行うこと。

自動車から鉄道や海上輸送へ転換

《自動車排出窒素酸化物の抑制》 大都市地域における窒素酸化物の水準を低減するために

①自ら貨物自動車を保有している場合は、可能な限り窒素酸化物排出量の少ない車種に転換する努力をすること。

②自ら貨物自動車を保有している場合は、可能な限り空ぶかし、待時間の排除など燃料消費量の抑制に努めること。

③モーダルシフトの検討では、原材料の仕入先、商品納入先の地理的要因、貨物積載量などを勘案し、鉄道輸送、海上輸送が可能な場合は自動車からの鉄道輸送、海上輸送へのモーダルシフトを検討すること。

流通業務効率化法が10月から施行

共同配送施設の設置など中小企業の物流効率化推進

物流は個別事業者を超えた広範な経済活動であることから、政府は①取引慣行の是正②情報化・標準化の推進③中小企業対策④物流効率化投資の促進⑤産業界における体制整備一など総合的な物流効率化対策を推進していく。

取引慣行の是正は、前ページまでに紹介した『物流合理化ガイドライン』による各業種ごとの指導。また、『物流コスト算定・活用マニュアル』の開発やその普及である。

情報化・標準化の推進は、業界 E D I パイロットモデル調査研究、統一伝票の制定、共通商品・物流コード、情報データベースの拡充などによる物流分野の情報化を推進する。さらに一貫した物流システムのための J I S 規格体形整備など、物流機器規格の標準化があげられる。

中小企業対策としては、中小企業が共同で配送設備などを設置して流通業務の効率化を進める『中小企業流通業務効率化促進法』を5月に制定し、10月に施行する予定である。

同法によると、通産・運輸大臣が基本指針を策定する。これに基づき事業協同組合等が、効率化計画を作成、県知事および運輸局長が認定する。認定された計画に基づき、共同配送施設の設置など流通業務効率化事業を実施する場合国と県は予算による補助、高度化融資、税制措置など積極的な支援をしていく。

とくに事業協同組合等が共同で物流加工、物流高度化施設の設置など高度な事業を実施する場合は、融資割合80%、無利子の高度化融資制度が利用できる。

40人が実技の技能検定を行う

県の工業技術センターで、講習会も開く

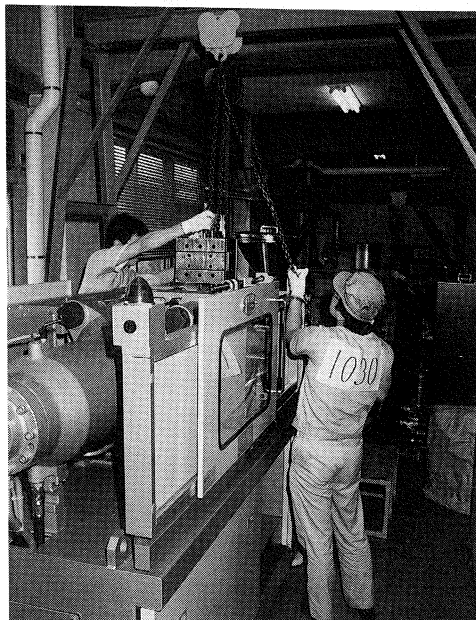
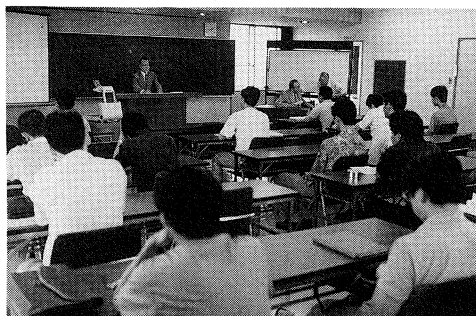
工業組合は岐阜県職業能力開発協会から委託をうけ、7月7日から7月29日までの11日間、岐阜県工業技術センターで平成4年度の「プラスチック射出成形技能検定」を実施した。またこれに先立って受検者を対象に『特別講習会』を6月29日から2日間行い、基礎からみっちり勉強、技能検定に備えた。（写真右）

武藤理事長が受検者全員を激励

今年度のプラスチック射出成形の受検者は、1級が学科1人、実技4人、学科・実技ともが3人、また、2級は学科14人、実技14人、学科・実技ともが19人が受検した。1、2級合計では55人が受検、このうち実技だけの受検者は40人にのぼり、ハイテク時代にふさわしくレベルの高い技能検定になりそう。

このため技能検定に先立ち開いた特別講習会は、6月29日から2日間、実技検定試験の会場と同じ県工業技術センターで「実技試験の解説と受検対策」「学科試験の解説と受検対策」や「機械取り扱い説明と加工技術」をテーマに行った後、使用機種のパブリック抽選をし、本番さながらに実習した。

特別講習会の開会式には、武藤工業組合理事長が出席し「プラスチック産業は環境や公害問題を抱えているが、これを上回る技術革新によって益々発展する産業である。この技術革新を支えるのが皆さん方の若い技術者である。これから取り込まれる技能検定は、国家試験でありいったん身につければ社会に通用する価値ある資格なので、一人でも多くの合格者が出ることを期待する」と激励した。



また、日置首席検定委員は技能検定開始にあたり「今年度から検定時間を80分短縮して行うが、基本に忠実、正しい作業方法で、日頃の実力を発揮してほしい」と強調していた。

技能検定は7月7日から7月29日までの火、水、木曜日にあたる11日間にわたり実技検定を行い、7月31日には工業技術センターで採点を行った。学科の検定試験は8月30日、岐阜大学で全国统一のもとに行われる。

産業会館の常設展示室への出品募集

9月からプラスチック業界もコーナーへ展示

工業組合は岐阜産業会館にある「岐阜県常設展示室」へプラスチック製品を出品、展示することになり、出品希望する組合員を募集している。

出品は無料、抽選で順次、展示

組合事務所のある産業会館1階にある岐阜県の常設展示室は、岐阜県通商振興協会の運営によって陶磁器、紙、繊維、金属、木工、食品などの製品が展示され、県産品の斡旋やPRに役立っている。

しかし、ここにはプラスチック成形加工品が展示されていなかったため、工業組合では岐阜県に対して「プラスチック業界のPRと業界振興のため、ぜひ製品を展示させてほしい」と要望してきた。

“出品物の形状”には制限がある

このほど要望が認められ、9月から展示室のコーナー（容積は縦0.5×横1.0×奥行0.5mなので、出品物の形状には制限がある）に出品できることになった。

組合では公正を期すため、6月理事会で「プラスチック製品の岐阜県常設展示室出品要領」



プラスチック製品も展示される常設展示室

を定め、組合員から展示製品を募集開始したものの、第1回分は8月5日に申し込みを締め切り抽選で順次、展示していくことになった。

なお、出品料は無料で、展示期間は1年間。展示商品の入れ替えは、出品組合員と組合事務局が打ち合せて行うが、初展示は9月になる。

三菱化成のエンジニアリング プラスチックス

ナイロン樹脂

NOVAMID

ポリカーボネート樹脂

NOVAREX[®]

PBT樹脂

NOVADUR

中低圧ポリエチレン

ポリエチレン

NOVATEC

高圧ポリエチレン

NOVATEC-L



三菱化成株式会社

本社：東京都千代田区丸の内2-5-2・三菱ビル
電話 03(283)6320(大代表) (〒100)

9月に初の親睦ゴルフ

―岐阜関カン・東コースで開催―

工業組合は9月24日(木)に『第1回理事長杯争奪・組合員健康づくり・親睦ゴルフ大会』を開催する。組合員の健康づくりと親睦交流を図るのをねらいに新しく開催を企画したもので、理事の加藤法康、長谷典雄さんが幹事となって準備を進めている。

会場は岐阜関カントリーの東コースで、午前7時30分に集合し、ダブルベリヤ方式でプレーする。組合では優勝者に理事長杯と賞品を贈るほか、5位までの入賞者と飛び賞、ベストグロス賞などにも賞品を贈る。

参加者の募集(参加費は無料)は、すでに7月から行っていますが、8月20日で締め切り、申し込み者が予定の20人を超えたい募集を打ち切ります。

賛助会員の勧誘を開始

―業界の理解と協力呼びかける―

工業組合は5月に開いた総会で『賛助会員制度』を設けたが、6月と7月の理事会で賛助会員の加入勧誘計画を協議した。

賛助会員制度は、工業組合に協力する企業が現在8社あり、こうした協力企業を定款にはっ

きり位置付けし、同時に規約を定めた。規約の内容は「組合に対する協力と理解を高め、事業活動に役立てていく」とし、賛助会員には1口以上の会費負担をしてもらい、組合が作成した資料を提供する他、組合員との懇親会などの会合や事業に参加、交流してもらおう。

理事会では各役員から賛助会員の新規候補者をリストアップしてもらい、9月から具体的な勧誘活動を開始することにした。

なお、賛助会員の候補リストは先に組合員にお知らせしたとおりで、この中で「取り引きのある場合」また、候補リスト以外に「この企業なら勧誘したほうがよい」という対象企業があれば事務局までご連絡を。

労働保険の事務を処理します

労働保険は「雇用保険」と「労災保険」があり、全事業所に適用されています。このうち雇用保険率が4月1日から引き下げられました。新しい保険率は、千分の12.5(従来は千分の14)で、その負担割合は一般の製造業の場合、事業主が千分の8、被保険者は千分の4.5に改正されました。

事務処理については工業組合へ委託をしてください。

TOSHIBA

東芝機械株式会社

本 社 東京都中央区銀座4丁目2-11

名古屋営業所 名古屋市中村区名駅4丁目7番23号

化工機課 TEL <052> 561-8341

デザインのすすめ

岐阜県プラスチックデザイン協会

高齢化社会のデザイン

6月20日付け朝日新聞は、福井市在住の工業デザイナー川崎和男さんがデザインした車椅子「CARNA」が、ユーゴスラビアで開催されたデザイン展（第13回リュブリアナBIO展）において、最高賞の金賞を受賞したと伝えている。

デザイナー自身が脊髄損傷の身障者であり日常的に車椅子を使用するなかで感じていた様々な問題点を一つずつ解決し開発されたものである。取扱い易さの点からは軽量化が不可欠であるが、安全性の面においては十分な配慮が要求される。そこで構造材にはチタンが使われ、重量は従来の三分の二に押さえられた。車輪はディスクホイール形式で、使用者の好みに応じた彩色もできるという。座及び背もたれは長時間、快適に使用できるように特別に開発されたエアマット、あるいはウレタンシート（障害により選択）となっている。開発者は「今の車椅子は重くてダサイ。自転車のように街に気軽に出入れ、自分が乗りたくなるもの考えた」と述べている。

健康ではあっても高齢化による身体的機能の

衰えは、青年期や壮年期にある者の想像を超えたものがあるようだ。健康のため階段を昇り降りするならばともかく、高齢者が歩道橋や駅の長い階段を休みながら昇る姿は痛々しく、わが国における社会資本の整備の遅れを実感させられる。

家庭日用製品にも問題は多い。先端技術を過大評価（ほとんど信仰に近い）し誇示する余り、使い勝手を悪くした家電製品は枚挙にいとまがない。新しいメカニズムと外観デザインを優先した結果、高齢者が使い方を覚えられなくなった「ゴマすりき」。表示が判読しにくいえにまったく同じデザインの卓上用調味料容器。さらには品質保持から個装化が進み、高齢者には開封がままならない菓子などなど。

国連の定義によると、老人とは65歳以上をさしているが、やがて人口の四分の一を占めるといわれる高齢化社会は、同時に、21世紀には100兆円を超えるまでに成長するといわれるシルバー市場として熱い眼差しが向けられている。地場業界においても市場参入に向けた新商品開発が進むと考えられるが、企画・開発担当者（多くの場合、健康な若いデザイナー）のきめ細かな対応が求められるとともに、評価・決定段階における評価手法の工夫が必要に思われる。

（岐阜県工業技術センター技術振興部）

出光

の石油化学製品

ポリステレン
スチレン系耐熱樹脂
ポリカーボネート
GF PET

ポリプロピレン
高密度ポリエチレン
直鎖状低密度ポリエチレン
カルブ®



出光石油化学株式会社

東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎ 03-213-9361(代)
名古屋支店 名古屋市中区栄2丁目1番1号 日土地名古屋ビル5F 〒460 ☎ 052-204-6051~3

感性とアイデアで自社ブランド

株式会社服部樹脂

組合員の工場訪問は、前号に続いて新工場訪問。訪ねたのは全生産の95%もの自家製品を成形、販売している株式会社服部樹脂（服部昭元社長、資本金1,000万円、従業員11人とパート6人）の新本社工場である。

新しい工場は、旧工場があった高富町赤尾の入口、つまり美山町への街道に近いところ。敷地は短冊型で、長辺がなんと105mもあり、その面積は4,000平方mを超える広さ。

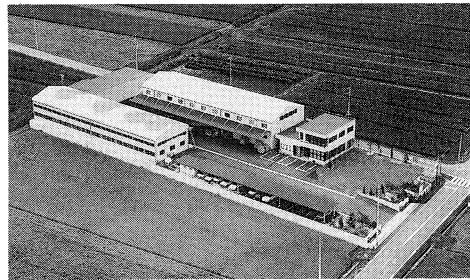
創業20年を迎え新本社工場を計画

「いやー、新工場といっても移転して、もう2年半になりますよ。創業20年目を迎えた時、工場の新築を計画したが、この不況を考えるといい時期に建設した」と話す服部さん。それよりも「新工場は土地も建物も担保に入っていない」と、自社ブランドを生産、長年、内部留保に努めてきた成果を誇る。

工場は500平方mの成形工場、1,200平方m



広い新本社の成形工場、これに隣接し倉庫が2棟並ぶ



空から見た新工場全景

と400平方mの倉庫2棟、それに230平方mの2階建ての本社事務所からなる。

成形機も同時に増設、265トンと3台を増やしこれまでの200トン2台、140トン1台を合わせて6台とした。自社ブランドの生産品目は食卓用品、台所用品、浴用・洗面用品、それに文房具やファンシーグッズなどで、100種類をはるかに超えるという。商品は約150の大型店、問屋、小売店を通じ、主としてギフトや催事用として販売されるが、近年の色彩の華やかなファンシーグッズが大受けという。

昨年度から経理と販売面を電算化

服部さんは「創業いらい景気に左右されずに企業を伸ばしてきたが、今度の不況はもろに影響を受けた」「ここでは実力と感性とアイデアで新工場を活用し、不況を切り抜けていきたい」と振り返る。しかし、最後に「経営面では昨年5月から経理と販売を電算化し、事務の合理化を図ったが、生産施設ばかりでなく、じっくり企業全体の方向を見据えながら経営を進めていきたい」と、業界の若手経営者らしい小気味のいい言葉が出た。

事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

□ 創立25周年記念行事の企画に着手 □

5月の通常総会の席上でも武藤理事長が申し上げましたように、来年は組合創立25周年を迎えます。今年はその「準備の年」として「組合員の増強」「賛助会員の勧誘」「組合青年部の育成」などに取り組むなど、組合組織の強化に努めております。理事会では創立記念行事について協議しているところで、こんご行事の具体的な内容を企画していきますが、この経済情勢の中でどのような規模で記念行事を行うかを話し合っていきます。

現在まで協議してきた記念行事の素案としては①平成5年度の5月総会の後に行う②著名人を招いて記念講演を行う③来賓、賛助会員を招いて懇親会を開催する④業界の歴史や各界のメッセージをまとめた記念誌を発刊する一などが上がっており、記念行事として固めていく方針です。記念行事の内容について、組合員各位のご意見をお寄せください。

□ 退職金の事前準備に福祉厚生制度 □

工業組合では組合が所属している中小企業団

体中央会が推進する『福祉厚生制度一さきがけブームプラン』の法人紹介代理店契約をこのほど締結しました。

この福祉厚生制度は、昨今の企業経営の課題の一つである退職金の事前準備を計画的、合理的に行っていくのをねらいに開発された保険制度です。内容は生命保険本来の機能を活かしつつ利殖性、節税効果が図れ、満期までに含み資産として蓄積される合理的な退職金等の事前準備に積み立てるものです。

近く組合と紹介代理店契約を締結した東邦生命保険の外務員が、組合員企業を訪問することになります。先の『がん共済制度』に続く保険の普及事業ですが、組合の財政基盤確立の一助にもなりますので、ご検討をお願いします。

岐阜県のプラスチック 1992 107号

平成4年8月1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番1号
(岐阜産業会館4階)

電話 (0582) 72-7173

FAX (0582) 76-1525

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 竹内安之

ポリエチレン

スミカセン®

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂

エバテート®

ポリプロピレン

住友ノーブレン®

ポリスチレン樹脂

エスブライト

塩化ビニル樹脂

スミリット®

メタアクリルシート

スミペックス®

メタアクリル樹脂

スミペックス-B®

高密度ポリエチレン

スミカセンハード

熱可塑性エラストマー

住友TPE

合成ゴムSBR

住友SBR

合成ゴムEPR

エスプレン®

エチレン酢酸ビニル

塩化ビニル共重合樹脂

スミグラフト®



住友化学工業株式会社

名古屋支店 〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)
電話 <052> 201-7571

暑中お見舞い申しあげます

平成4年8月
岐阜県プラスチック工業組合
役員一同



ムトー精工株式会社

代表取締役 武藤 昭三

本社工場 〒509-01 岐阜県各務原市鷺沼川崎町1-60-1
TEL(0583)71-1100(代) FAX(0583)82-4365
岐阜工場 〒509-01 岐阜県各務原市鷺沼川崎町1-9-3
TEL(0583)83-8311(代) FAX(0583)83-1516
筑波工場 〒300-03 茨城県稲敷郡阿見町大字香澄の里13-2
TEL(0298)89-0800(代) FAX(0298)89-0805



取締役社長 大松 利幸

本社 岐阜市神田町9丁目25番地(大岐阜ビル6階)
〒500 ☎ <0582> 65-2233(代)
生産本部 各務原市前渡東町4丁目2-2番地
〒504 ☎ <0583> 86-9311(代)



コダマ樹脂工業株式会社

代表取締役会長 児玉 庄一

代表取締役社長 児玉 俊一

本社及び
本社工場 岐阜県安八郡神戸町末守377の1
電話 <0584> 274141番代
郵便番号503-23

ポリエチレンチューブ
農業用ポリエチレンフィルム



株式会社 東海ポリエチ工業所

代表取締役社長 大野 繁俊

取締役副社長 大野 實

本社工場 岐阜県羽島郡岐南町野中 ☎501-61
TEL (0582) 46-1313番代
FAX (0582) 47-2411番
名古屋営業所 名古屋市西区城西5丁目5番4号 ☎451
TEL (052) 521-9296番代
FAX (052) 532-1664番



ひまわり印家庭用雑貨

東和化成株式会社

代表取締役 納土 栄一郎

本社・工場 岐阜市前一色3丁目5番16号
TEL<0582>45-5528(代)〒500
東京営業所 東京都中央区湊3-16-8
磯部ビル2F
TEL<03>551-6300〒104

バス・航空機・車輛・船舶用各種座席、航空機部品
強化プラスチック、太陽温水器

天龍工業株式会社

代表取締役 福西 紀雄

常務取締役 奥村 勝

本社 岐阜県各務原市蘇原興亜町4丁目1
TEL<0583>82-4111(代)



業務用食器一式・製造印・治工具金型設計製作

大垣プラスチック工業株式会社

代表取締役会長 日比 正隆

代表取締役社長 日比 勝次

本社 岐阜県大垣市大島町2丁目394番地
TEL <0584> 81-1347(代)
営業所 名古屋市西区児玉2丁目1番12号
TEL <052> 531-5121(代)

合成樹脂原料製造販売
委託加工及カラーリング

美濃化学工業株式会社

代表取締役 吉田博司

本社 岐阜県美濃市極楽寺改田1451-1
TEL <0575> 33-1888
FAX <0575> 33-1618



三光合成株式会社

岐阜工場

工場長 奥村三七太

本社 富山県西砺波郡福光町遊部800
TEL 0763-52-2135
岐阜県安八郡安八町森部2454-1 〒503-01
TEL 0584-64-3388
FAX 0584-64-4936



各種プラスチック成型

日本工芸株式会社

代表取締役 加藤法康

〒501-32 岐阜県関市西田原415番地
TEL <0575> 22-0328
FAX <0575> 24-3075

有限会社 清水樹脂

代表取締役 清水昭市

美濃市乙狩10-2
TEL <0575> 37-2114
FAX <0575> 37-2586

各種プラスチックシート真空成型加工



パール化成株式会社
PEARL CHEMICAL PRODUCTS CO., LTD.

代表取締役 杉山元彦

本社工場 〒501-04 岐阜県本巣郡真正町温井243-3
TEL (0583) 24-9155 (代) FAX (0583) 24-6221
管理本部 〒500 岐阜市八坂町40番地の1
岐阜工場 TEL (0582) 71-0861 (代) FAX (0582) 75-0970

芯入りビニールテープ 製造・販売
各種異形押出製品

信和工業株式会社

専務取締役 長谷典雄

各務原市鶴沼朝日町1丁目48番地
TEL <0588> 84-6578
FAX <0588> 70-1646

関化成工業有限会社

代表取締役 林光夫

本社 関市東町4-3-17
TEL <0575> 22-1545 (代)

工場 関市ひかり町
TEL <0575> 22-4904

岐阜技研ポリマー株式会社

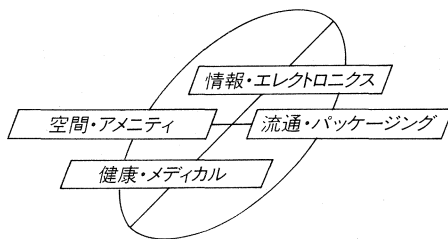
代表取締役 篠田哲

岐阜市岩地3-7-15
TEL <0582> 46-2541
FAX <0582> 46-2081

ShinEtsu

Value-Tech for LIFE

確かな技術で、大きな価値を



信越ポリマーは産業、そして生活の場に“価値あるカタチ”をお届けするため、的確なニーズの把握と新しい技術開発への挑戦を続けています。“価値ある製品づくり”を通じて、豊かさを追い求める社会の要請に、タイムリーにお応えしていきます。

信越ポリマー株式会社

名古屋支店

〒450 名古屋市中村区名駅4-27-23 名古屋三井ビル

Tel. 052-581-4231

ShinEtsu 信越PVC

生活用品からエレクトロニクス材料まで——信越PVC

P.V.C.

信越化学工業株式会社 名古屋支店 〒450 名古屋市中村区名駅4-27-23 (名古屋三井ビル東館)
☎ (052) 581-0651

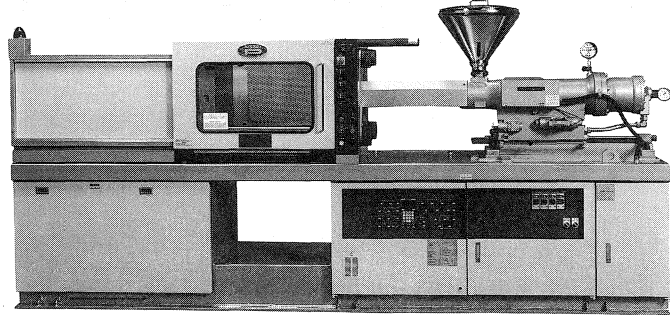
射出成形機の新たな到達点「FE」。 「FS」の卓越した基本思想を継承し登場。

FE

- コンパクト設計
- FA化の推進
- 高剛性・高効率

FEシリーズ

- FE80S ●FE120S ●FE160S
- FE210S ●FE260S ●FE360S
- FE460S



NISSEI

日精樹脂工業株式会社

次代を示す先端技術「FEシリーズ」

世界のベストセラー「FS」は、精密安定を基本理念とながら、その高品質、高精度、耐久性、省エネ、優れた操作性といったあらゆる面において、皆様から高い評価をいただきました。今回ラインナップした「FEシリーズ」は、この「FS」の卓越した基本思想を継承し、さらに発展。コンパクト設計による省スペース化、スペーサーを必要しないため、金型交換のFA化を一層推進。さらに型縮剛性の向上による長期安定成形を実現しました。つねに「お客様の利益を考えながら、高付加価値成形を提案する」No.1メーカー、NISSEIならではの真価です。

岐阜出張所 / 岐阜県岐阜市指原寺尾町3-40番ビルF ☎0582-72-5952

- ★名古屋営業所 / 愛知県小牧市外堀2-167 ☎(0568)75-9555(代)
- 岡崎出張所 / 愛知県岡崎市上六名3-1-8三期ビル1F ☎0564-52-1430
- 三重出張所 / 三重県津市神戸横田203-4 ☎0592-24-0716
- 本社・工場・技術研究所 〒389-06 長野県坂城町南条2110 ☎0268-82-3000(大代表)
- 東京事務所 ●テクニカルセンター / 本社・相模原・岩槻・大阪・名古屋
- 営業所 / 全国10ヶ所 ●出張所 / 全国24ヶ所 ●海外サービスステーション / 25ヶ所

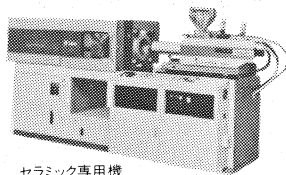
ハイテクノロジーに挑戦

MEIKI

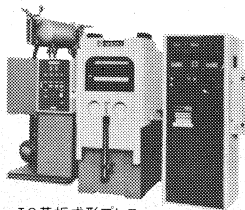
プラスチック、光ディスク、ファインセラミック射出成形機、IC基板成形プレス等、先端技術加工機を生産して、世界の名機として活躍しています。



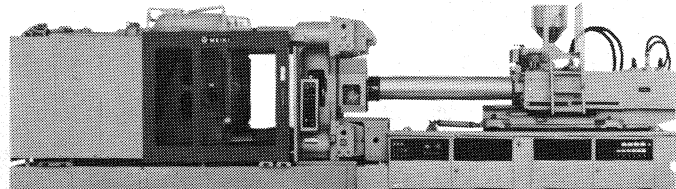
ディスク専用機



セラミック専用機



IC基板成形プレス



プラスチック射出成形機



株式会社 **名機製作所**

本社・工場
〒474 愛知県大府市北崎町大根2 ☎0562>48-2111(代)

時代の進歩に多くを学んでいます。

次は...

JSR 合成樹脂ワイドセレクション

JSR ABS

イッパンヨウ
コウキノウ

ツカクシヨウ
ココロタクヨウ

JSR AES

タイコウセイジュシ

JSR XT

チヨウタイネツジュシ

JSR NC

ジコシヨウカセイジュシ

JSR NF

ジコシヨウカセイジュシ

JSR MBS

PVCキョウカヨウジュシ

JSR EXCELLOY

フクゴウガタイネツジュシ

JSR CONDUCTOR

ドウデンセイジュシ

JSR AS

コウキノウガタASジュシ

JSR RB

フタジエンジュシ

JSR TR

ネツカンセイエラストマー

JSR SIS

ネツカンセイエラストマー

NYLON 46

NYLON 6. PET-G

MAXLOY

コウキノウポリマーアロイ

DYNA FLEX

エラストマーケイフクゴウサイ

LINK FLEX

日本合成ゴム株式会社

JSR

東京都中央区築地2-11-24

☎(03)5565-6537

大阪支店 ☎(06) 203-0041

名古屋支店 ☎(052)571-1231

広島支店 ☎(082)221-7252



活きてる素材。

三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂 / 板状品

アクリライト®

メタクリル樹脂 / 射出成形材料

アクリペット®

ABS樹脂

ダイヤペット® **ABS**

三菱レイヨン

東京(272)4321 / 大阪(202)2241 / 名古屋(561)6711

いろいろ組み合わせで グルメ満足

グルメセット

個食サイズの惣菜がますます増えています。4アイテムで20種以上の組み合わせを可能にした、新しいタイプの個食用シリーズグルメセットです。
セット組み販売により、売り場をさらに大きく展開できる個性が魅力です。



 **リスパック株式会社**

岐阜プラスチック工業株式会社

- 本社：岐阜市神田町9丁目25番地（大岐阜ビル6階）
- 生産本部：各務原市前渡東町4丁目222番地

岐阜プラスチックグループ

- リス興業(株)
- リスパック(株)
- リス(株)
- 東北リス(株)
- 東京リス(株)
- 大阪リス(株)
- 四国リス(株)
- 九州リス(株)
- リスエンジニアリング(株)